

横浜市市民活動支援センター事業評価報告書

平成25年3月
横浜市市民活動推進委員会

<目次>

1	経緯	1
2	横浜市市民活動推進委員会委員	1
3	横浜市市民活動推進委員会開催経過	1
4	横浜市市民活動支援センター事業評価基準	1
5	評価対象事業	1
6	評価講評	2
7	横浜市市民活動支援センター事業評価基準	5

1 経緯

平成 24 年度横浜市市民活動支援センター運営事業及び自主事業（5か年事業）について、横浜市市民活動推進委員会は、評価基準に基づき、事業報告書等の書類及びヒアリングにより、事業の評価を行ってまいりました。

この度、評価結果を、報告書にまとめましたので、ここに提出します。

2 横浜市市民活動推進委員会委員

役職	氏名	所属等
委員長	小濱 哲	横浜商科大学貿易・観光学科教授
委員	奥山 千鶴子	特定非営利活動法人 ビーのびーの理事長
委員	門倉 晴義	社会福祉法人横浜市社会福祉協議会地域活動部長
委員	時任 和子	特定非営利活動法人 夢・コミュニティ・ネットワーク代表
委員	中島 智人	産業能率大学経営学部准教授
委員	治田 友香	関内イノベーションイニシアティブ株式会社取締役
委員	松村 正治	恵泉女学園大学人間社会学部人間環境学科准教授 特定非営利活動法人 よこはま里山研究所 NORA 理事長
委員	三輪 律江	横浜市立大学学術院国際総合科学群准教授

3 横浜市市民活動推進委員会開催経過

委員会	開催日	内容
第6期第6回委員会	平成24年7月9日(月)	○ 横浜市市民活動支援センター運営及び自主事業（5か年）の事業計画の説明及びヒアリング
第7期第2回委員会	平成25年3月19日(火)	○ 横浜市市民活動支援センター運営及び自主事業（5か年）の事業報告の説明及びヒアリング

4 横浜市市民活動支援センター事業評価基準

別紙「横浜市市民活動支援センター事業評価基準」のとおり

5 評価対象事業

(1) 横浜市市民活動支援センター運営事業部門【5か年事業】

実施主体：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

(2) 横浜市市民活動支援センター自主事業部門

市民活動に関する人材育成【5か年事業】

事業名：協働型地域経営リーダー養成事業（よこはま地域づくり大学校）

実施主体：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

6 評価講評

(1) 横浜市市民活動支援センター運営事業部門【5か年事業】

実施主体：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

評価項目	評価の着目点	講 評
管理運営	横浜市との協働	日常的に市と情報交換し、また、市民側の意見集約とその窓口になっており、市民活動支援センターとしての役割を果たすとともに、力強いパートナーとなっています。 NPOの次世代基盤整備は、全体の方針が示されており、評価できます。
	自主事業団体との協力・調整	自主事業実施団体同士の情報交換の支援を行っており、「申し合わせ書」により、目的の共有化が図られています。
	職員の確保及び育成	PDCAサイクルの徹底や、定例で開催している全員会議により業務や課題の共有を行っており、職員の育成が図られています。 また、様々な世代の職員がいることも評価できます。 さらに、現場訪問も積極的に行っていることも、評価できます。
	予算	講師料の支払いや参加費の導入等、経費の削減が図られています。
	事務管理や危機管理	危機管理マニュアルの整備・見直しを行い、研修による情報の共有化が図られています。 また、防災訓練の具体的な方法を検討し、実施していることは評価できます。
事業計画	相談対応業務	当事者団体（現場団体）に寄り添ってニーズを把握する姿勢が伺えます。 また、「相談分野別コード」の設定により相談内容のデータベースが整備され、分析されたことは、評価できます。 今後はニーズへの対応だけでなく、能動的に潜在的なニーズへの働きかけも期待します。 また、職員の相談対応スキルの平準化にも努めてください。
	情報提供・発信業務	Facebookや様々なメディアの活用など工夫しています。 「広報評価委員会」による客観的評価の仕組みの導入も評価できます。 一方で、改善方法や結果の周知に工夫が必要と考えます。
	共同オフィス事業	シェアオフィスネットワーク交流会等の実施による、市民活動団体間の連携・協働の広がり期待が持てます。 今後は、入居団体の自立に個別に関わる取組みの検討をお願いします。
	各区の市民活動支援センター事業との連携や運営支援	各区の担当職員研修や勉強会、区の地域振興課職員向けの研修の実施により、各区の職員や支援センター職員との関係の整理に繋がったと感じ、評価できます。 今後はさらに、各区の支援センターや市民活動の現状に応じた支援が求められると思いますので、各区との事業計画のすり合わせや、利用区民の満足度の変化（事業効果）にまで踏み込んで欲しいと考えます。
	事業実施計画	実践者に重要と思われる先駆的視点で事業を企画しており、年々活動が拡充されており、評価できます。

<p>総評</p>	<p>■ 期待を上回った</p>	<p>多岐にわたる事業を、戦略的な意図をもって実施しており、今後の当事者組織、他の支援団体とのネットワークの構築に活かされていくことに期待します。</p> <p>また、業務改善に積極的に取り組み、年々活動の充実を感じます。</p> <p>特に、困難な課題である運営主体の異なる各区の支援センターとの連携に果敢に取り組まれていることは評価できます。</p> <p>なお、限られた予算の中で全国的に見てレベルの高いサービスを提供されていると思います。</p> <p>今後は、地域振興や社会教育など、市民活動につながる多様な取組との連携をさらに進めていくことも検討して欲しいと思います。</p> <p>さらに、市民活動への新たな関心層の拡大に向けて数値的な目標を掲げ、どういう人材をこの分野に取り込みたいかが明らかになるような調査も必要と感じます。</p> <p>一方で、数値的なものだけでなく、質的な成果の把握も求められていると思いますので、年間テーマだった「NPOの次世代基盤整備」等、事業成果に対する総合的な自己評価も実施してください。</p>
-----------	------------------	--

(2) 横浜市市民活動支援センター自主事業部門

市民活動に関する人材育成【5か年事業】

事業名：協働型地域経営リーダー養成事業（よこはま地域づくり大学校）

実施主体：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

評価項目	評価の着目点	評価講評
事業運営	横浜市市民活動支援センター事業を担う他の団体との協力・連携	定期的な交流会により、情報の共有化が図られ、課題解決・事業企画のアイデアの検討が進んでいると感じます。
	予算	卒業生にサポーターとして関わってもらえるなどの工夫は、人件費抑制の面だけでなく、事業全体に対しても効果的であったと感じます。 一方で、市民活動団体の連携による運営スタッフの確保も検討する必要があると考えます。 また、参加費の徴収など受益者負担に取り組んでいることは評価できると思いますが、費用（経費）は、その効果との関係で適正さが判断されることから、受講料を値上げする分、一層の内容の充実が求められると考えます。
事業計画	事業内容	基礎コース、応用コースとも、これまでの積み重ねからの知見が生かされ、充実した内容となっています。 また、選択性のカリキュラムにより、問題意識の近い参加者同士でグループを組むなど、工夫や学びあいといった考え方が徹底されている点は評価できます。 今後、どのように内容的な広がりや深みを持たせていくのか、といった方針を持つことが望まれます。 区域開催での取組のように、参加者だけではなく、一般市民との関わりがより求められると考えます。
	事業計画	他都市への情報の提供だけでなく、他都市の情報を事業へ活用することを増やすことも良いのではないかと思います。
	期待される効果	受講生の自主的な活動が促進されていることが、成果として認められます。 「スパイスクラブ」で卒業生のフォローを行うことで、地域活動の担い手が育っていると感じられますが、今後、長期的な視点により、支援体制を構築することが求められます。 また、事業の成果が地域にどのように生かされているかといった、卒業生へのフォローや検証があると良いと感じます。ブックレットに期待しています。
総評	■ 概ね順調に進んでいる	講座参加者や調査先との交流が、横浜における地域づくりの事例整理とその共有につながっていると感じられます。 しかし、地域課題に関心がない層に、地域課題を理解してもらうようにするにはどうしたらよいか、各地域だけでは解決できない課題だと思います。若手の掘り起こしなど、次の世代へ繋げることが大事だと感じられます。 全体的に、年々充実している事業内容、終了予定の基礎コースの継続開催など、事業に対する意欲が感じられます。 今後は、これまでの卒業生のネットワークや、活動の支援を体系化すると良いと感じます。 なお、区域開催の際には、区社協・地区社協との連携・協働の視点も必要であると思います。

横浜市市民活動支援センター事業評価基準

1 運営事業部門

評価項目	評価の着目点	説明	特記事項	
			評価できる点	改善が望まれる点
管理運営	横浜市との協働	横浜市との協働にあたり、協働の基本理念や行政に対する理解が深まったか。		
	自主事業団体との協力・調整	自主事業団体と相互に協力・連携が果たされたか。		
	職員の確保及び育成	安定的に業務を継続できる人員が確保され、育成されたか。		
	予算	経費執行が適正であるとともに、経費節減の工夫がなされたか。		
	事務管理や危機管理	不正経理や個人情報漏洩等の事故を未然に防ぐための計画や体制がとられ、緊急時の対応が可能な管理運営体制となっていたか。		
事業計画	相談対応業務	利用者のニーズに応える体制がとられ、利用者の満足度が高まったか。		
	情報提供・発信業務	利用者サービスを向上させるための有効な情報提供・発信が行われたか。		
	共同オフィス事業	共同オフィス事業を理解し、入居団体の自立支援や活動の活性化が果たされたか。		
	各区の市民活動支援センター事業との連携や運営支援	市と区の市民活動支援センター事業の役割分担を踏まえた連携や運営支援策が行われたか。		
	事業実施計画	実施時期や方法が適切で、成果があがったか。		
	総評	<input type="checkbox"/> 期待を大きく上回った <input type="checkbox"/> 期待を上回った <input type="checkbox"/> 概ね順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 改善の余地がある (条件付事業継続) ----- <input type="checkbox"/> 改善の余地がない (事業継続不可)		
	※いずれかにレ点			

2 自主事業部門

評価項目	評価の着目点	説明	特記事項	
			評価できる点	改善が望まれる点
事業運営	横浜市市民活動支援センター事業を担う他の団体との協力・連携	横浜市市民活動支援センター事業を担う他の団体（自主事業部門・運営事業部門）と相互に協力・連携が果たされたか。		
	予算	経費執行が適正であるとともに、経費節減の工夫がなされたか。		
事業計画	事業内容	事業内容は市民活動のニーズを捉えたものであったか。		
	事業計画	実施時期や方法が適切で、計画通りに実施されたか。		
	期待される効果	市民の満足度が高まり、具体的な効果があったか。		
	総評 ※いずれかにレ点	<input type="checkbox"/> 期待を大きく上回った <input type="checkbox"/> 期待を上回った <input type="checkbox"/> 概ね順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 改善の余地がある (条件付事業継続) ----- <input type="checkbox"/> 改善の余地がない (事業継続不可)		